

キャーアッパ°

地元を創造する学生活動のニュースレター / 2018 AUTUMN

VOL_1



長野大学COC+とは

学生主体のCOC+

「地（知）の拠点大学による地方創生推進」活動

長野大学でのCOC+事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進」活動は、
「学生主体」を軸として事業活動を行っています。

それは、地方創生を行っていく者は、

若者（学生）達の自らの意識と意志に他ならないからです。

現在、長野大学COC+事業活動では、

学部も学年も横断的に構成された19名の学生達が、

「長野大学COC+学生運営委員」となり、

主体的な意識と意志をもって事業運営の活動に参画しています。

一人ひとりの学生が「地（知）の拠点大学による地方創生推進」の実現をモットーに
元気にワクワクした活動を展開しています。



CONTENTS

- 01 e-ポートフォリオシステムアプリ開発 - p04 ~
- 02 SDGs ワークショップ - p06 ~
- 03 モノコトづくりワークショップ - p08 ~
- 04 上田市内めぐり学生限定ツアー - p12 ~

キャリアアップとはキャリア+アップの造語で
学生が様々な経験を通じて
学生各々のキャリアを向上させることを目的とした
活動の成果を報告するフリーペーパーです。

企業や学生、そして社会を刺激し、
地域の中で様々な交流に繋がる
きっかけになればと思っています。

地 元 を 創 造 す る 学 生 活 動 の ニ ュ ー ス レ タ ー

キャリアアップ⁰

e-ポートフォリオシステム アプリ開発

キャリア形成e-ポートフォリオシステムアプリについて ～タイムリーな気づきある記録～

一昨年度より開発をスタートし今年度テスト運用を実施している「キャリア形成e-ポートフォリオシステムアプリ」は、学生一人ひとりが学内外のあらゆる活動の中でキャリアの成長の気づきを簡便かつタイムリーに記録を残すことを目的としたスマートフォンアプリです。日々の自分の活動が「自分自身のキャリアの成長に繋がった」と意識をもったとしても、時間の経過と共にその貴重な気づきの記憶は薄れ、後に体系的に振り返ることが難しくなってしまうものです。「タイムリーな気づきある記録」を習慣化する効果の検証も行っていきたいと思っています。

長野大学COC+キャリアコーディネーター 森田 小百合

ログイン



アカウントログイン画面
ユーザー ID/パスワード

活動記録 TOP



+α

記録された日が活動タイプ別
で色分け丸印でカレンダーで
表示される

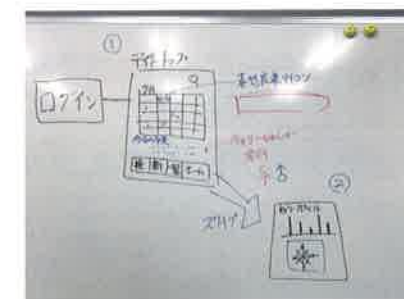
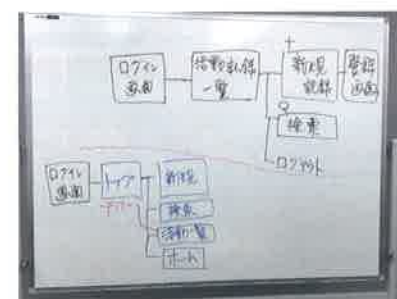
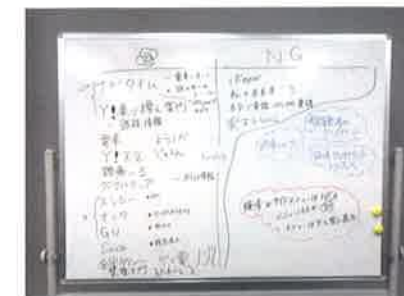
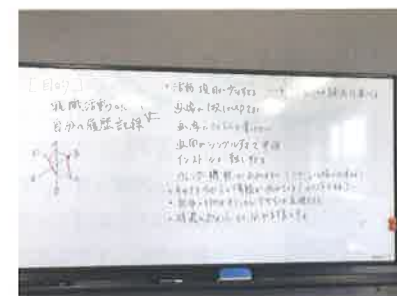
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)中間評価結果

総括評価 S ランク獲得

文部科学省では、平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」を実施します。(文部科学省HPより)



アプリケーション機能追加に伴い、みんなでUIデザインについて勉強した。その際の参考書。



アプリケーション機能の追加

COC+で行っていた信州大学と連携したキャリア形成ポートフォリオ開発に長野大学の企業情報学部の学生5名が被験者となり現状のアプリを数ヶ月間使用しました。使用した感想や課題を挙げて、話し合いを行い、新しい機能の追加を提案しました。

活動記録検索



社会人基礎力の12の能力要素

主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

登録・編集



活動の記録と編集をする機能と
画像の添付ができる仕様にして
いる

活動記録一覧



活動記録を一覧表示することで、
管理等をしやすくした

SDGs ワークショップ

テーマを通じて、

学生と企業の対話の場を作ることを目的としたワークショップ。

SDGs の 17 項目を用い、意見交換することで、

企業の考え、学生の考えを知ることができる。

Students 自分の活動を SDGs の視点から

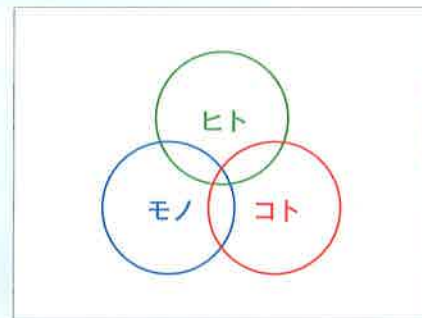


福井 麻友
長野大学
企業情報学部 3 年

国際連合で位置付けている SDGs、持続可能な開発目標 17 項目をベースとして社会問題をテーマに、企業の方とワークショップをおこなった。さらに、グループディスカッションを進めるにあたって「ヒト」、「モノ」、「コト」の 3 つの軸から考えていき、どの開発目標が関連するかを最終的に図で表し、各自発表をした。1 つの社会問題の解決には、いくつかの開発目標が複合的に取り組まれる必要がある。その関わり方も「ヒト」、「モノ」、「コト」からのアプローチで出来ることがわかった。自分自身が関心を持って行っている活動も、社会問題を解決する力を発揮することが可能性であると感じた。今後も、自分が活動をする際に SDGs の視点から関わりたい。



SDGs をベースに自己紹介。福井さんはゼミでプログラミングを行っているためエネルギーを表した 7 番を元に紹介。



SDGs (上)

SDGs (sustainable development goals-持続可能な開発目標-)とは世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会を作るために世界各国が合意した 17 の目標と 169 のターゲットです。

ワークシート (下)

自分のアイデア、考えを「ヒト」、「モノ」、「コト」に分類しながら書き出した。



Company 学生にいろんな企業を知ってほしい

学生が何に興味を感じているのだろう。今は、ちょっとした不思議はネットで調べることはできるが深く調べようと思ったときは今も昔も変わらない。一つの企業が地域社会で行っていることは決して学生の目に触れることはない。それら企業が行っていることは小さいけれどソーシャルビジネスです。世界の貧困を無くしたり、地球環境は良くしないとけないかもしれないけど、地域社会は根強く生きています。その事を地域の企業を勉強する時に触れてもらいたい。今回はその意味で企業も学生も勉強になった。学生たちが感じたことは地域社会も感じていることだと思う。いろいろな企業を知ってほしいと思った。



鈴木 永さん
東郷堂
取締役常務



このワークシートは「介護」をテーマにしたグループで SDGs 分析を行ったもの。一つのテーマに対して、ヒト、モノ、コトの方向から具体的な発案がディスカッションされた。



モノづくり ワークショップ

manufacturing
and
service workshop

「ものづくり」は
「ことづくり」に繋がっている。
現場の技術とそこで働く人の想いを
学生が学び、
企業との相互理解を深める。



3D 技術編

第一回目のモノコトづくりワークショップは上田市で3D技術を強みとする「原製作所」にご協力いただいた。スキャンやモデリング等、3D技術を体験を通じて学ぶことができた。



Company information

HARA
HARA SEISAKUSYO



有限会社 原製作所
3D スキャン、リバースエンジニアリング、レーザートラッカー計測事業を展開している会社。

〒386-1321
長野県上田市保野 248-7

Student 地元には面白い企業がたくさんある

平成 30 年 6 月 28 日の木曜日にモノづくりワークショップということで、上田市にある有限会社原製作所の原洋介社長のお話を聞き、実際に 3D スキャンの体験をした。

原製作所は、以前は機械の製造などを行うこの地域の中小企業であったが、数年前から 3D スキャンを専門とするグループを立ち上げ現在ではそれを専門とする企業となっている。

様々な分野の大小問わず、3D スキャンをすることができ、大きなものでは航空機から小さなものではガンプラ（ガンダムのプラモデルの略）などフィギュアのパーツ、機械の細かな部品まで 3D スキャンの依頼が来る。スキャナーは高額なものの多く高級車を買うくらいの値段とのこと。そのようなスキャナーが原製作所には何台もあり、スキャンするものに

じて使い分けを行ってる。

その後、3D スキャンを実際に体験した。ドライバーに似た大きさのスキャナーを使い、手や顔をスキャンした。スキャン中は光が点滅し少しまぶしいが、モニターにスキャンしたものが表示された。なぜか、眼鏡などの反射するものは表示されなかった。

今回のワークショップを通じて、地元こんなに面白い企業があることに驚いた。また、原製作所では、地域の歴史的な資料や銅像もスキャンすることがあり、重要な過去の歴史を残す上で地域貢献をしている企業だと感じた。

今回のワークショップは、とても貴重な体験になったと振り返り、実感している。



樋沢 舜

長野大学
企業情報学部 3 年

自分で体験して触って、
使ってみると
3D 技術をがわかる。



3D 触感型モデリング (上)

モニターの中に表示されている画像が、マウスを使って物体に触って加工できるモデリングツールを使用。



3D スキャン (下)

3D スキャナーを使って、人の頭をスキャンし、多方向からのスキャンングでデータをとった。

「フジゲン株式会社」

フジゲン株式会社の
大町工場見学と
ブランド戦略について
学生が取材した。
永年ギター製造メーカーの
ブランド戦略立ち上げから携われてきた
営業部主任今福三郎様に
お話を伺った。

Interview 1

佐藤 莉衣

信州大学
繊維学部3年



今福さんは求める人材について以下のように述べた。「人の
見る目を養うことも大切である。若いけどきちんと自分の意
見を言えて、考えを持っている人がいい。」私も同感である。
たとえ上司であっても間違えたことを間違っていると主張で
きる人が良いと思う。またそれを圧力で阻止しようとする団
体であってはいけない。私はフジゲンの工場を見学し、とて
も真面目で正直な会社だと考えた。作業が職人の技によるも
のであったこともあるが、一生懸命誇りをもって働いていた
ように思う。



「若いけどきちんと自分の意見を言えて、
考えを持っている人がいい。」

Interview 2

山岸 勇太

長野大学
企業情報学部3年



フジゲンには多種多様な機械が置いてある。木材をカットす
る機械や、パイオ乾燥機、研磨する機械など様々なものが置
いてあるが、一番使われるのは、それら機械以上に人の感覚
である。製造はマニュアル化、自動化とは縁遠い場所にあり、
人が携わらないと完成まで行き着けない。それほどまでに人
間の感覚が優れているという見方もできるが、同時に、その
技術の熟成までに相当の年数を費やすことになるため、かな
り人間としてのレベルを問われる仕事だと思った。とはいえ、
ギターの製造を見ることは本当に新たな発見が多く、触れた
ことのない私でも楽しかった。ただ、もっと自動化して「感
コツ」作業ではないものにすることが今後の課題だと思った。

Company information

FUJIGEN

フジゲン株式会社(大町工場)

〒398-0004
長野県大町市常盤須沼 3680-1

世界的シェアを持つ、世界が誇るギター製造
メーカー。職人技術と機械生産とが融合された
独自のブランドをグローバルに展開している。



「ギターに使用する木の材質によって精度が変わる。」と今福さん。

地場の風土を生かした

ものづくり技術と経営戦略を学ぶ

概要

上田市内の一人暮らしの大学生を対象にした学生ツアーを開催
趣旨は上田市の魅力を県外から来ている学生に伝えること



上田市に下宿して2年ちょっと。
上田の観光地といえば上田城などの定番な発想しかないので
今回は普段行かない上田の名所を回るといことで参加。

志 ま ん や き



「志まんやき」とは...
上田市民に愛されるリウルフード
一般に今川焼きとも呼ばれる

あんこ 80 円
クリーム 80 円

海野町商店街にて、ピザハウスミッキーズの揚げパン、
富士アイスのじまん焼きなどを食べた。
他にもここでしか食べられない美味しそうなものが
売っているお店がたくさんあった。
商店街のレトロな雰囲気心地よく、友人を連れてまた訪れたい。



上田Naviの池松さんが観光ガイドをしてくださった。
池松さんは「上田Navi」というフリーペーパーを制作している方で、
「どの県どの地区にも同じ町並みや商品はあるが、それを紹介でき
る人が少ない」ため観光ガイドを行っているそうだ。
お話のなかでも心に残ったのが「商品売るかサービス売るか」とい
う言葉だった。商品の魅力も大事ですが、お客様の心に残るものは「ど
んなサービスを受けた」かが、重要であると気付かれされた。



上田市内めぐり 学生限定ツアー

別所温泉散策では、「温泉旅館 七草の湯」の方に別所温泉の現状
について話を伺った。何年か前までは、地元の方の新年会や忘
年会で乗り切っていたが、
現在はそれのお客も少なく、経営難の旅館が増えた。
そうならないためには、「源泉の権利を各旅館が持つことが必要
だ」と伺った。
その問題をまず解決する必要があると感じた。





上田市内めぐり学生限定ツアー A4 リーフレット D 中林裕希 / I+D 石井瀬奈

発行
長野大学
〒386-1211 長野県上田市下之郷 658-1
長野大学 COC+ 学生運営委員会デザイン部

編集・デザイン
中林裕希 (長野大学企業情報学部)
石井瀬奈 (長野大学企業情報学部)

発行日
平成 30 年 12 月 8 日



12月8日(土) **入場無料**

時間:13:00~17:00

場所:信州大学 松本キャンパス 第一体育館

無料バス申し込み受付中 **締め切り12月3日(月)**

申し込み方法:長野大学9号館1階地域づくり総合センター窓口へ

乗車場所:上田駅温泉口11時発/長野大学体育館東側駐車場11時30分発

お問い合わせ:長野大学 地域づくり総合センター 0268-39-0007

大しごと〜く
in 信州 2018



詳細はこちら→

表紙デザイン

キャリアを形成する上で必要な「社会人基礎能力の12能力要素」を12角形のデザインに当てはめ、キャリアが形成されるイメージを表現した。